

家庭での学習の仕方(5・6年生)

1 音読

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
(言葉を正しく、気持ちを込めて、聞いている人に意味がわかるように)
- 練習後、おうちの人にきいてもらいましょう。
- 終了後、音読カードに読んだ印をつけましょう。
- まだ勉強していないところもどんどん読みましょう。



2 国語

- 今までに習った漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字スキルの手本を見ながらいねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。
例 「きへん」「さんずい」の付く言葉をノートに書く。
「明るい」←→「暗い」のようにノートに書く。
- だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味も書いておきましょう。
- 視写をしましょう。教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
文のかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。(何度も見てはだめです。)



3 算数

- その日に学習したところの問題を、家でも練習しましょう。
(まちがったところは、ノートなどに書いて復習してみるのも効果的です。)
- 小数のかけ算やわり算、分数のたし算やひき算、かけ算やわり算の練習をしましょう。
- 面積や体積の公式を使った問題の練習をしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返しましょう。問題を解いたら答え合わせをして、まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」考えて、やり直しましょう。

4 社会・理科

- 授業で勉強した内容の復習をしましょう。
大事な所に線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。
大事な語句を中心に、教科書の内容をノートにまとめてみましょう。
- 教科書の少し先の内容の予習をしましょう。
わからない内容や興味のあることを本やインターネットで調べましょう。



〈その他〉

- 復習しおわったところは、市販の問題集などにも挑戦してみましょう。(答え合わせ、まちがい直しも忘れずに)
- 新聞を読みましょう。文章をまとめる力をつけるためにも、読めるところはしっかり読みましょう。